

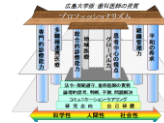
Reference data:

小川哲次 (2013) 『医療系のコミュニケーションはスキル教育でしょうか？科学教育でしょうか？—広島大学歯学部2年生大正の対人コミュニケーション論・医療コミュニケーション基礎論の授業から—』. In Reinelt, R. & Ogawa, T. (eds.) Communication and Medical Communication 2013. CAJCS & MCERS, Matsuyama, p. 20 - 23.

第16回日本コミュニケーション学会(CAJ)中国同題支部大会
医療コミュニケーション教育研究セミナー(第8回)
平成25年12月7-8日 広島大学

医療系のコミュニケーションは スキル教育でしょうか？ 科学教育でしょうか？

—広島大学歯学部2年生対象の
対人コミュニケーション論
・医療コミュニケーション基礎論の授業から—



小川哲次

広島大学病院口腔総合診療科



教育理念1

医療(医療行為: medical care)は、行動(コミュニケーション)を伴う介入(処置・投薬・面接、観察)である。

従って、医療者には、医療行為にかかわる患者・家族、重要他者並びに医療・健康関係者の行動(コミュニケーション)についての科学的分析能力とともに、自らが分析した結果(根拠)に基づいて適切に行動(コミュニケーション)する能力(プロフェッショナルリズム)が必須である。

教育理念2

教育(education)は、行動(コミュニケーション)を伴う介入(教える、支援する、評価する、観察する)である。

従って、教育者には、学習者(・家族、重要他者並びに教育関係者)の ①行動(コミュニケーション)と②その行動変容についての科学的分析能力とともに、自らが分析した結果(根拠)に基づいて適切に行動(①コミュニケーション、②学習を援助)する能力(プロフェッショナルリズム)が必須である。

リサーチクエッション1

- ・ 非日常の講義室や演習・実習室でのコミュニケーションの授業(学習、教育)で、学習者が予測できない事態に対応するコミュニケーションスキル(能力)を身に付けることができるのだろうか？
⇒ 日常の学習環境や生活環境の重視
- ・ コミュニケーションスキル(能力)を上達させるのが絶対的命題(教育目標)であれば、学習生活あるいは現場(社会)での体験が最も効果的なのではないだろうか？
⇒ 徒弟制度的教育の良い点を取り入れる？

リサーチクエッション2

- ・ では、高等教育に要求されているコミュニケーション教育では、一体何を学習目標(outcome)とし、どのように教え、そして評価すべきなのだろうか？
⇒ コミュニケーションの(基本的)スキル(能力)？
⇒ コミュニケーションプロセスの分析・評価力(科学)？
- ・ しかし、教えるのにも科学的根拠が必要だし、コミュニケーション行動と教育のいずれにも深く関わっている人間性との関係はどうだろうか？

皆さんは、
どのようにお考えですか？

はじめて経験する(予測不可能な)事態に対応
するコミュニケーション能力の修得？

Best Evidence for
Communication
Evidence Based Communication
Narrative Based Communication

Behavior Science for
Communication

はじめて経験する(予測不可能な)事態に対応
するコミュニケーション能力を培うには、

Best Evidence
for
Education

医療者の
養成

スタッフ?として現場に参加(画)するのは、臨
床(地)実習から、それとも卒業後ですか？



スタッフへ

大河

臨床実習

臨床実習
大

東條学校

現場とは違う!

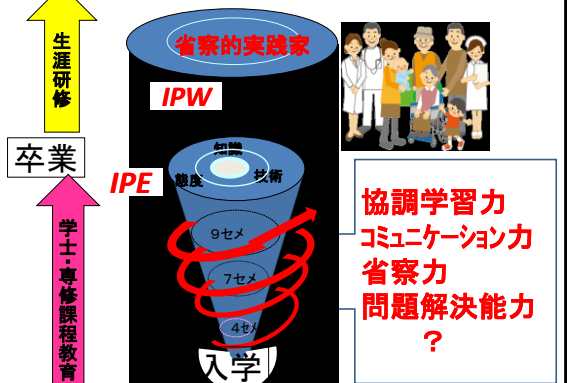
小学校

現場と授業における学習の違い？

- 一般的な学習観
自分の外にある知識を内化させること
⇒ 認知、行動、構成、社会構成主義
- もう一つの学習観
学習を実践共同体への参加の度合いの
増加と見る(学習を参加とみなし、人・行為・
世界を関係論的に見る)
⇒ 正統的周辺学習

Instructional Design(ID): 学習理論ではなく、
学習目標の具体的イメージ、効果的な学習法と評価法の設計

(相互に)学び・教え合うプロフェッショナル



広島大学歯学部2年生対象のコミュニケーション学(2単位)の授業

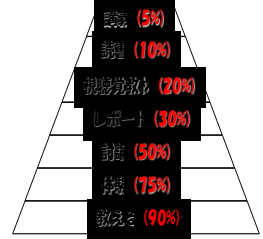
開講年	歯学科	口腔保健学科	主な教育内容あるいは狙い	学習理論
平成18年 ~15年	教養的教育科目 (選択) 90分×15回		医療現場のコミュニケーション 面接・説明・指導のスキル	認知・行動主義
平成16年 ~17年	教養的教育科目 (選択) 90分×15回		対人コミュニケーション、聴く・聞く・伝える・交渉する	認知・行動主義
平成18年	教養的教育科目(選択) (必修) 90分×15回	専門基礎教育科目	メッセージの意味づけ、解釈 応用-判断-態度のプロセス	行動・構成主義
平成19年 ~20年	教養的教育科目(選択) (必修) 90分×15回	専門基礎教育科目 (必修) 90分×15回	メッセージの意味づけ、解釈 応用-判断-態度のプロセス	行動・構成主義
平成21年 ~23年	教養的教育科目(選択) (必修) 90分×15回	専門基礎教育科目 (必修) 90分×15回	メッセージは心を動かすので厄介だ、介入と観察の行動科学	ID・社会構成主義
平成24年 ~26年	教養的教育科目(選択必修) (90+90)分×15回		コミュニケーションから臨床行動科学へ(科学の側面を学ぶ)	ID・正統的周辺学習
平成27年 ~	専門基礎教育科目(必修) (90+90)分×15回		コミュニケーションと臨床行動科学から良好な関係性の構築	ID・正統的周辺学習

アクティブラーニング(能動型学習)をすすめるにあたって

受講にあたって

講義での学習(知識)の定着率は5%程度に過ぎず、体系的知識の定着という概念などの理解には、これからの授業で行われるグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク、プレゼンテーション、ロールプレイ、教えるなどや、評価にかかわるポートフォリオ、授業評価(コメント)、フィードバックなどのアクティブラーニング(能動的学習)に加えて、ディブラーニングが必要です。

どのように学べば、学習定着率が高いか。

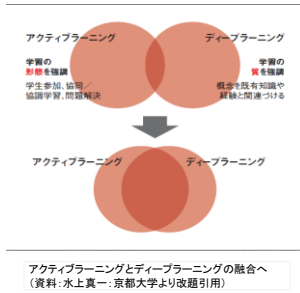


ラーニングピラミッド (平均学習定着率)
(National Training Laboratories (NTL) Institute (Bethel, Maine) in USA)

アクティブラーニング(能動型学習)をすすめるにあたって

受講にあたって

貴方はアクティブラーニングとディブラーニングの融合によって、学習への主体的かかわりや自らの知識体系の構築を目指します。従って、貴方自身の授業への参加あるいは参画度(発言や行動)によって、貴方の学修の深さ(到達度)が左右されます。



アクティブラーニング(能動型学習)とその支援

予習・復習
質問、小テスト
授業の補助
ペア・グループ
ワーク(ディスカッション)
ワールドカフェ
KJ法、ラベル法、マップ法
チーム作業
プレゼンテーション
ロールプレイ、発表
ディベート、
朗読、音読
記述する、描写する(絵をかく)
合同授業

TA
非常勤講師(専門家)
模擬患者
教職員
IT: WebCT(学習支援)
資料・リンク
資源(プリント、パワポ、動画、写真など)
・学習スタイル調査
・フィードバックなど
・振り返る(ポートフォリオ)、
・授業評価(感想、コメント)へのフォードバック
・筆記試験

省察的实践

- ・ 予期しなかった出来事・驚きが省察を喚起

Reflection in action 行為中の省察



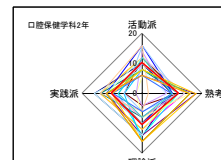
Reflection for action 行為のための省察

行為のための省察

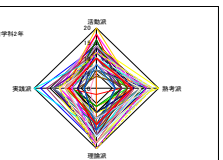
Reflection on action 行為後の省察

行為後の省察

口腔健康科学科 2年生

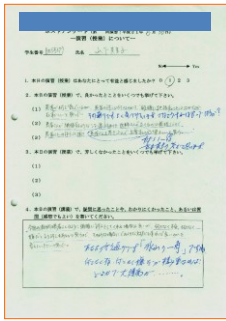


歯学科 2年生



分析結果	活動派 (Activist)	理論派 (Theorist)	熟考派 (Reflector)	実践派 (Pragmatist)
活動派 (Activist)	柔軟性がある開放的で、新しい状況に対して楽観的であるが、結果に対する思慮深さに欠け、実際に計画を実行するにあたって、意図が欠ける。 【推奨される学習方法】 経験に関わる具体的情報、ヒント、フィードバックを積極的に活用する。			
熟考派 (Reflector)			慎重で、人の意見をよく聞くが、直接的に参加することを避け、決断に時間がかかる。 【推奨される学習方法】 ポートフォリオを積極的に活用し、過去の経験を無駄にしない。	
理論派 (Theorist)		概念的、論理的であり、全体の流れを把握するのが上手であるが、曖昧なこと、不確かなことを嫌い、主観的、直感的なことに耐えられない。 【推奨される学習方法】 Evidenceに基づき学習を心がける。		
実践派 (Pragmatist)				物事を実際に移すのが得意で、技術的であるが、純粋な理論を嫌い、人間関係よりも任務を果たすことを優先する。 【推奨される学習方法】 実際の物体、物、事象および臨床を視覚的に認識し、積極的に体験すること。

**質問・疑問などへの対応
リアクション ペーパー**



ポートフォリオ

ポートフォリオ制人の名り漢字の記録 令和4年度 | 第4号

学生番号 名刺の住所 氏名 題名 単位名

申請書
 「自分の学び、活動の記録を振り返り、これまでに学んだことや、気づいたこと、成長したことを振り返り、今後の学びや活動の方向性を考える。また、自己評価や他者からの評価を受ける機会を設け、自己成長を図る。」

実践書
 1. 自己紹介
 2. 自己評価
 3. 他者からの評価
 4. 今後の学びや活動の方向性

実践書の記録
 1. 自己紹介
 2. 自己評価
 3. 他者からの評価
 4. 今後の学びや活動の方向性

2年 4年 5年

皆さんは、

どのようにお考えですか？

ご清聴を感謝します。